

2018年度第1四半期決算の概要

(2018年4月1日～2018年6月30日)

ご説明資料



“特殊”だけど“身近”な「特殊鋼」



山陽特殊製鋼株式会社



<http://www.sanyo-steel.co.jp>

目次

1. 2018年度第1四半期決算の概況

損益の概要

業績推移(四半期)

経常利益の変化要因

(2017FY1Q→2018FY1Q、2017FY4Q→2018FY1Q)

セグメント別損益、セグメント別損益推移(四半期)

貸借対照表

(参考)設備投資・減価償却費の推移

2. 2018年度業績予想等

2018FY業績予想の修正について

2018FY配当予想の修正について

経常利益の変化要因

(2018FY上期前回予想→2018FY上期今回予想、
2018FY上期今回予想→2018FY下期今回予想)

3. 参考資料

財務指標の推移

その他のトピックス

損益の概要

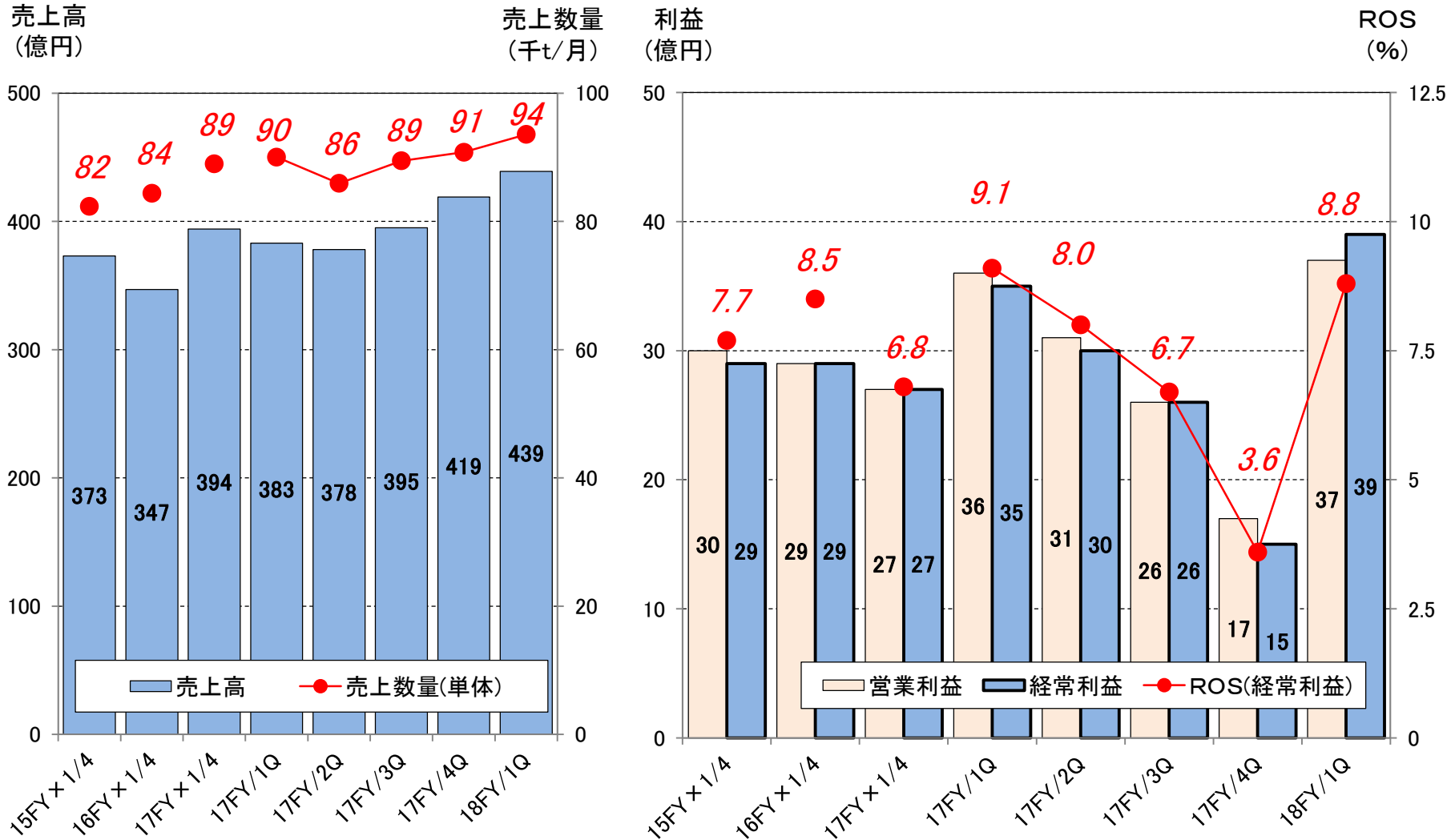
(単位:億円)

	2018FY/1Q (A)		2017FY/1Q (B)		対前年同期 (A)－(B)	
	金額	売上高 比率(%)	金額	売上高 比率(%)	金額	増減率 (%)
売上高	439	100.0	383	100.0	+56	+14.7
営業利益	37	8.4	36	9.3	+1	+3.0
経常利益	39	<i>ROS</i> 8.8	35	<i>ROS</i> 9.1	+4	+11.4
純利益(注1)	40	9.1	23	6.1	+17	+71.8
<i>ROE(%)</i> (注2)	11.8		7.3		+4.5	

(注1) 親会社株主に帰属する四半期純利益。2018FY1Qには、インドのMahindra Sanyo Special Steel Pvt. Ltd. (MSSSPL) 連結子会社化にともなう段階取得に係る差益15億円を含む。

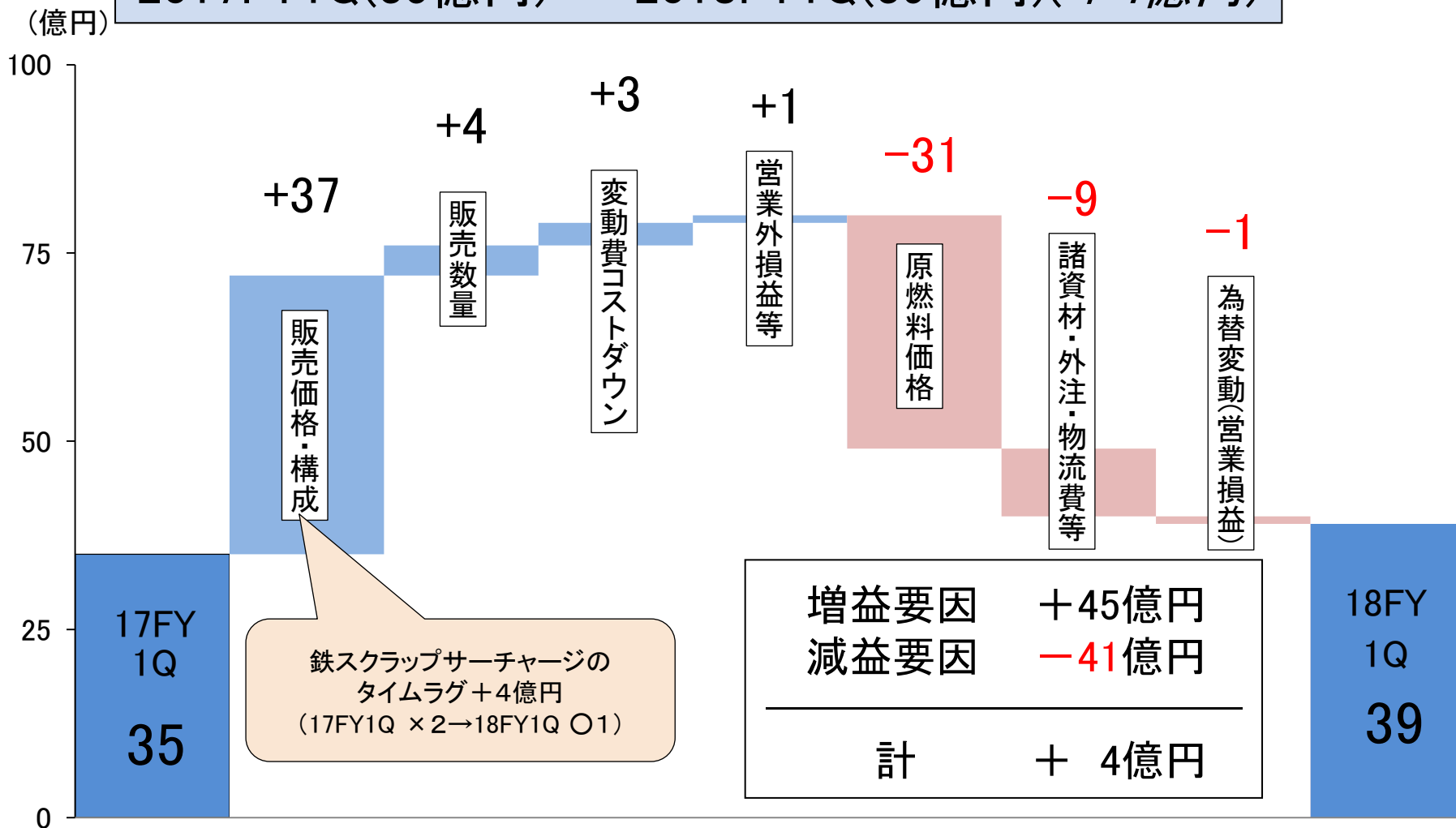
(注2) 年換算している

業績推移(四半期)



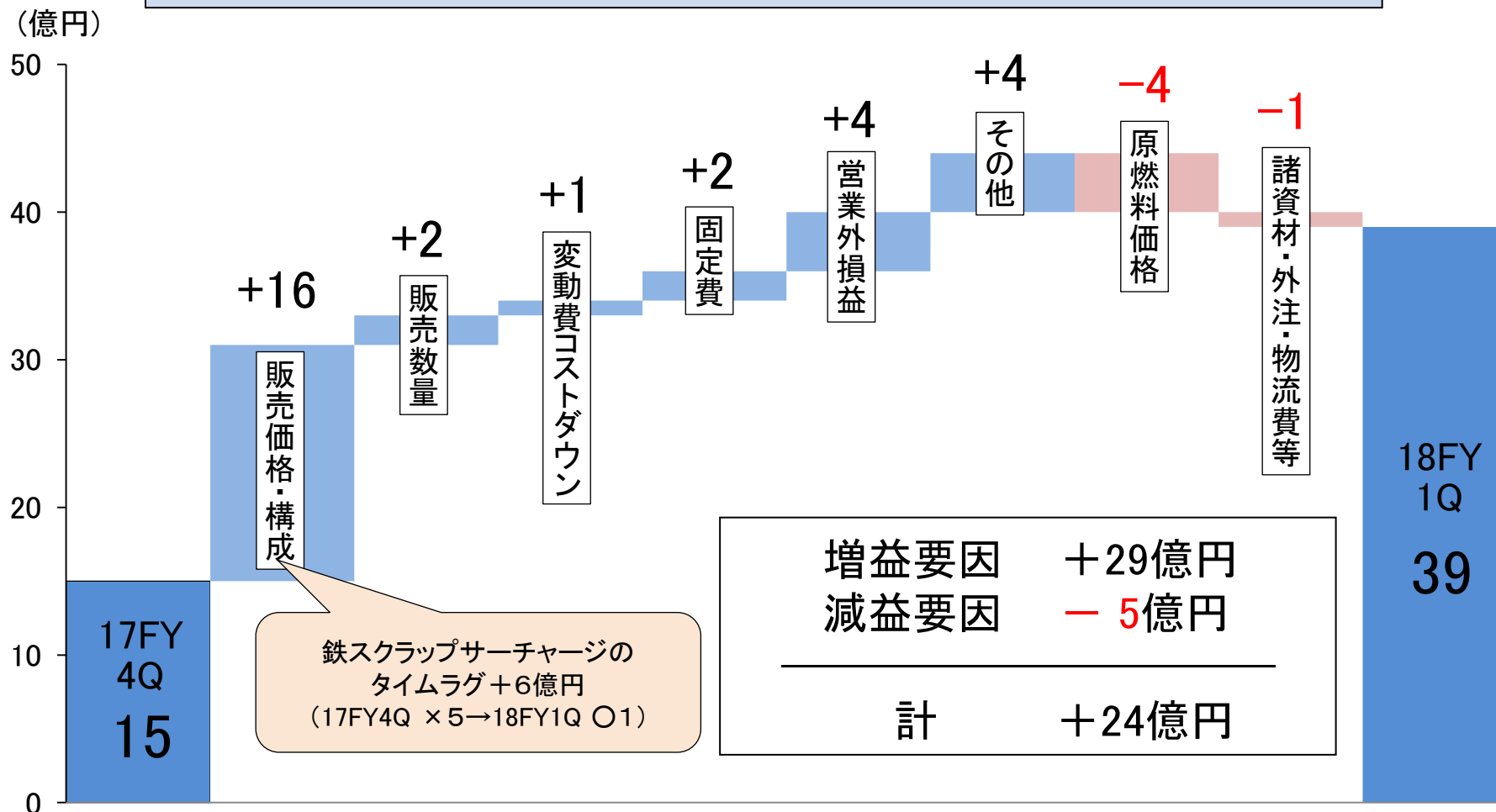
経常利益の変化要因

2017FY1Q(35億円) → 2018FY1Q(39億円)(+4億円)



経常利益の変化要因

2017FY4Q(15億円) → 2018FY1Q(39億円)(+24億円)



セグメント別損益

(単位:億円)

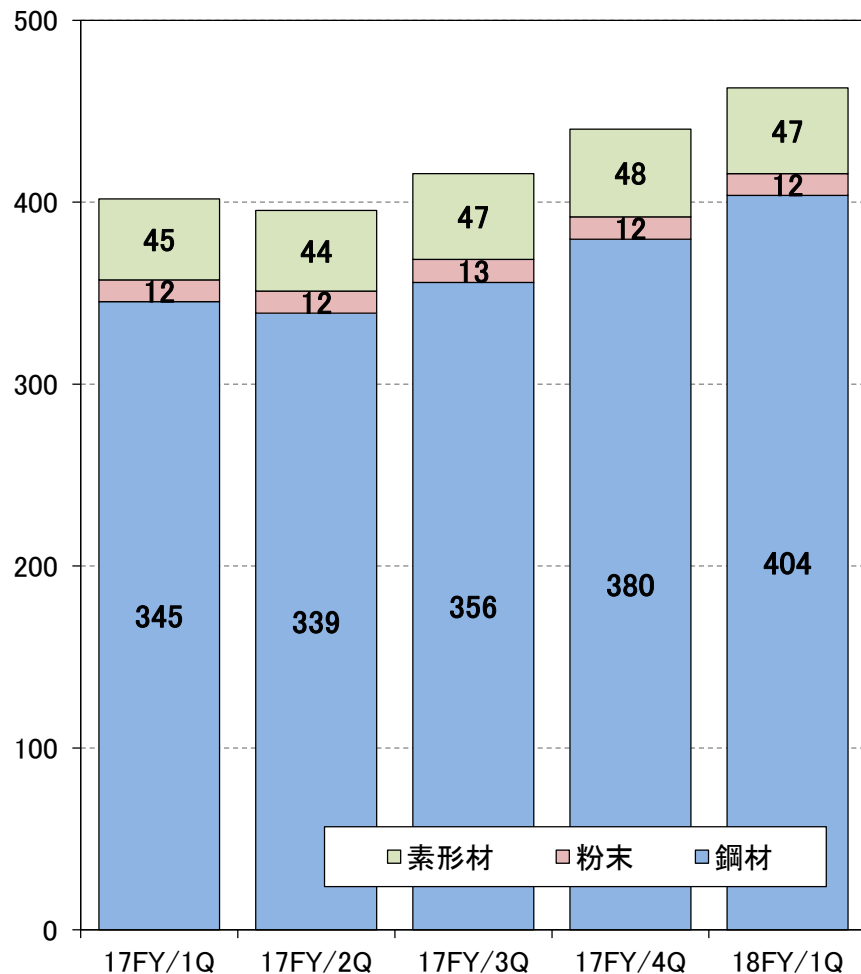
	2018FY/1Q(A)			2017FY/1Q(B)			対前年同期(A)-(B)		
	売上高	営業利益	売上高 営業利益 率(%)	売上高	営業利益	売上高 営業利益 率(%)	売上高	営業利益	売上高 営業利益 率(%)
鋼材(注)	404	32	8.0	345	29	8.3	+58	+4	-0.3
粉末(注)	12	2	16.4	12	3	22.8	+0	-1	-6.4
素形材(注)	47	2	4.6	45	4	8.8	+2	-2	-4.2
小計	463	36	7.9	402	35	8.8	+61	+1	-0.9
その他	3	▲0	-0.3	3	▲0	-2.9	+0	+0	+2.6
調整額(注)	▲27	0	—	▲22	0	—	-5	-0	—
連結計	439	37	8.4	383	36	9.3	+56	+1	-0.9

(注) 2018FY1Qより、管理方法の見直しに伴い、「調整額」に含めていた棚卸資産の調整額を各報告セグメントの営業利益に配分。

2017FYのセグメント情報についても、変更後の算定方法に基づき記載。

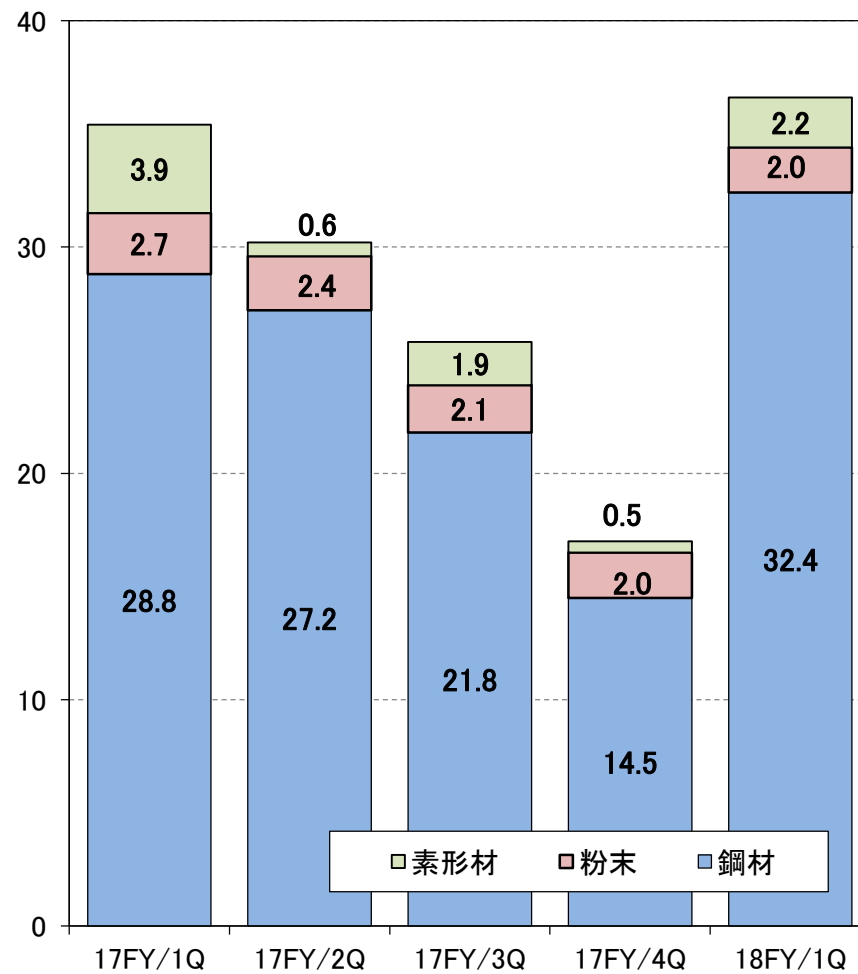
セグメント別損益推移(四半期)

(億円) セグメント別売上高推移



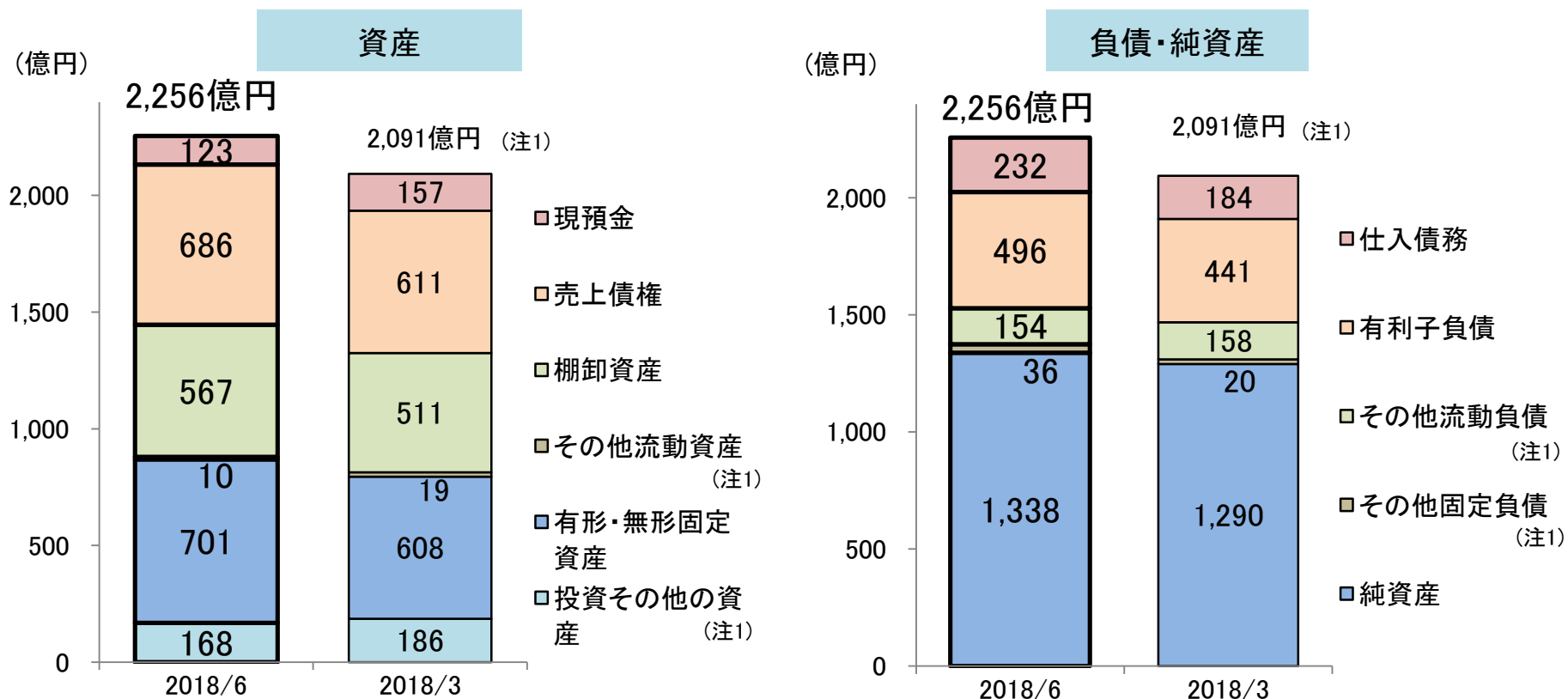
(注)内部取引等を含む。

(億円) セグメント別営業利益推移



(注)内部取引等を含む。
管理方法の見直し後の数値で記載。

貸借対照表



資産の主な増減 +165億円

売上債権	+ 76億円	: 売上増の影響、新規連結影響(注2)
棚卸資産	+ 56億円	: 原燃料価格上昇、新規連結影響(注2)
有形・無形固定資産	+ 93億円	: 新規連結影響(注2)

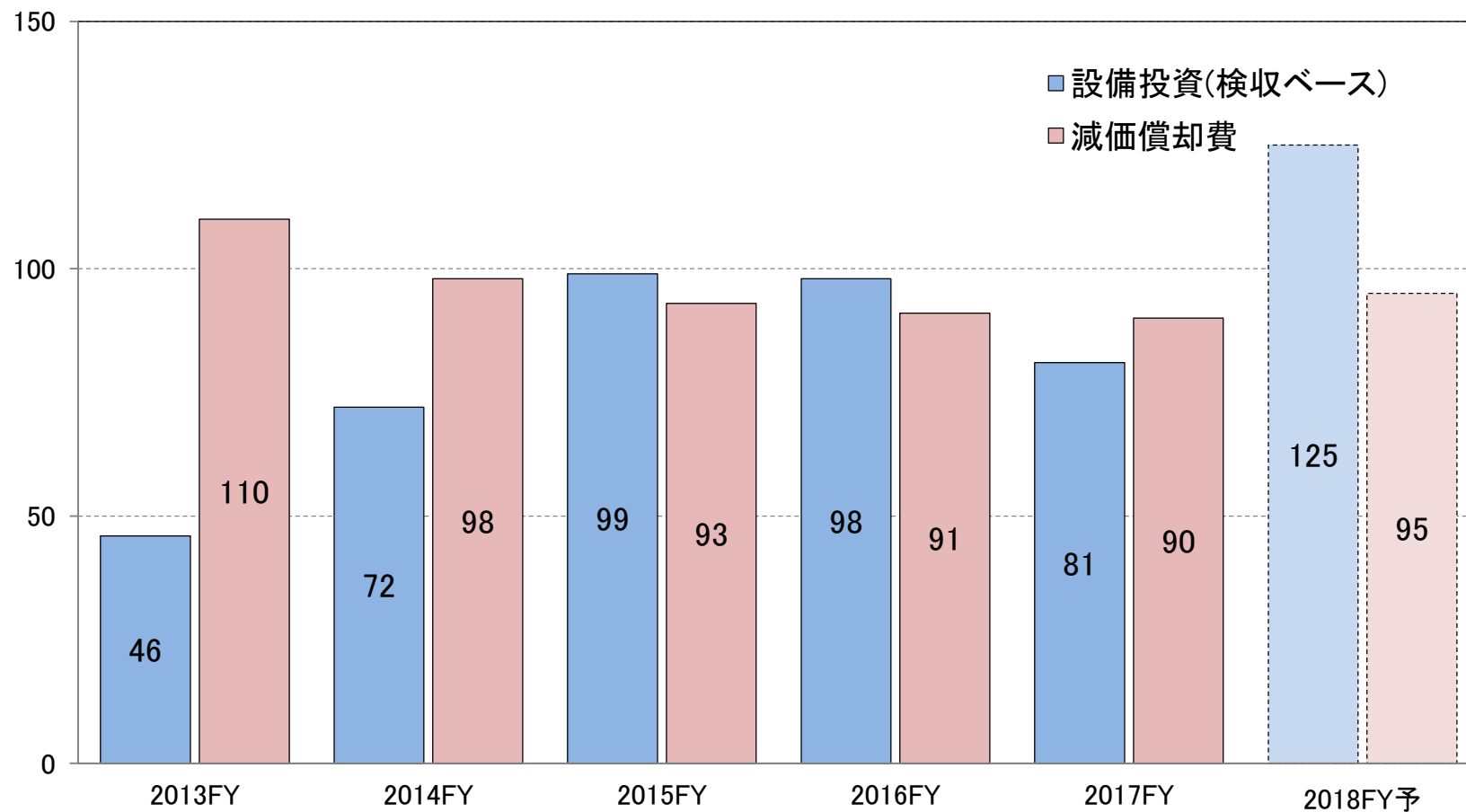
負債・純資産の主な増減 +165億円

仕入債務	+ 49億円	: 原燃料価格上昇、新規連結影響(注2)
有利子負債	+ 55億円	: 新規連結影響(注2)
純資産	+ 48億円	: 四半期純利益の計上による利益剰余金の増

(注1)税効果会計に係る会計基準の一部改正等を2018FY1Qから適用しており、2017FYについても、当該会計基準等を遡って適用した後の数値を記載。
 (注2)新規連結影響は、2018年6月に子会社化したインドのMahindra Sanyo Special Steel Pvt. Ltd. (MSSSPL)に係るものであり、影響総額は、約142億円。

(参考)設備投資・減価償却費の推移

(億円)



2018FY業績予想の修正について

(単位:億円)

	今回予想(A)			前回予想(B)			増減 (A)－(B)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上数量(千t/月) (注1)	98.0	104.5	101.3	96.5	103.0	99.8	1.5	1.5	1.5
売上高(注1)	900	950	1,850	900	950	1,850	—	—	—
営業利益(注2)	55	45	100	50	50	100	+5	-5	—
経常利益(注2)	55	40	95	45	45	90	+10	-5	+5
当期純利益(注2,3)	50	30	80	31	31	61	+20	-1	+19

(注1) 2018年6月に子会社化したMahindra Sanyo Special Steel Pvt. Ltd. (MSSSPL)分を含む。

MSSSPL 売上数量13千t/月、売上高50億円/Q(2Qから加算)

(注2) 今回予想には、MSSSPL連結子会社化にともなうのれん償却費(3億円)を含む。

(注3) 親会社株主に帰属する当期純利益。今回予想には、MSSSPL連結子会社化にともなう段階取得に係る差益(15億円)を含む。

主要前提

- ・鉄スクラップ 34.5千円/t (姫路地区H2市況)
- ・原油(ドバイ) 75\$/BL
- ・為替 110円/\$

2018FY配当予想の修正について

		今回予想(A)			前回予想(B)			増減(A)-(B)			(参考) 2017FY 実績
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
当期純利益 (注1)	億円	50	30	80	31	31	61	+20	-1	+19	70
1株当たり 純利益(注2,3)	円/株	155.2	—	246.3	94.7	—	189.4	+60.5	—	+56.9	218.3
1株当たり 配当金(注2)	円/株	45.0	26.5	71.5	27.0	27.0	54.0	+18.0	-0.5	+17.5	58.5
配当性向 (注3,4)	%	29.0	—	29.0	28.5	—	28.5	+0.5	—	+0.5	26.8

(注1) 親会社株主に帰属する当期純利益

(注2) 2017年10月1日に株式併合(5株を1株)を実施。2017FY実績は、当該株式併合を踏まえて換算。

(注3) 今回予想については、2019年3月28日実施予定の第三者割当増資を考慮した期中平均株式数により算定。

(注4) 配当性向は、1株当たり年間配当金を1株当たり当期純利益で除して算定した値を記載。

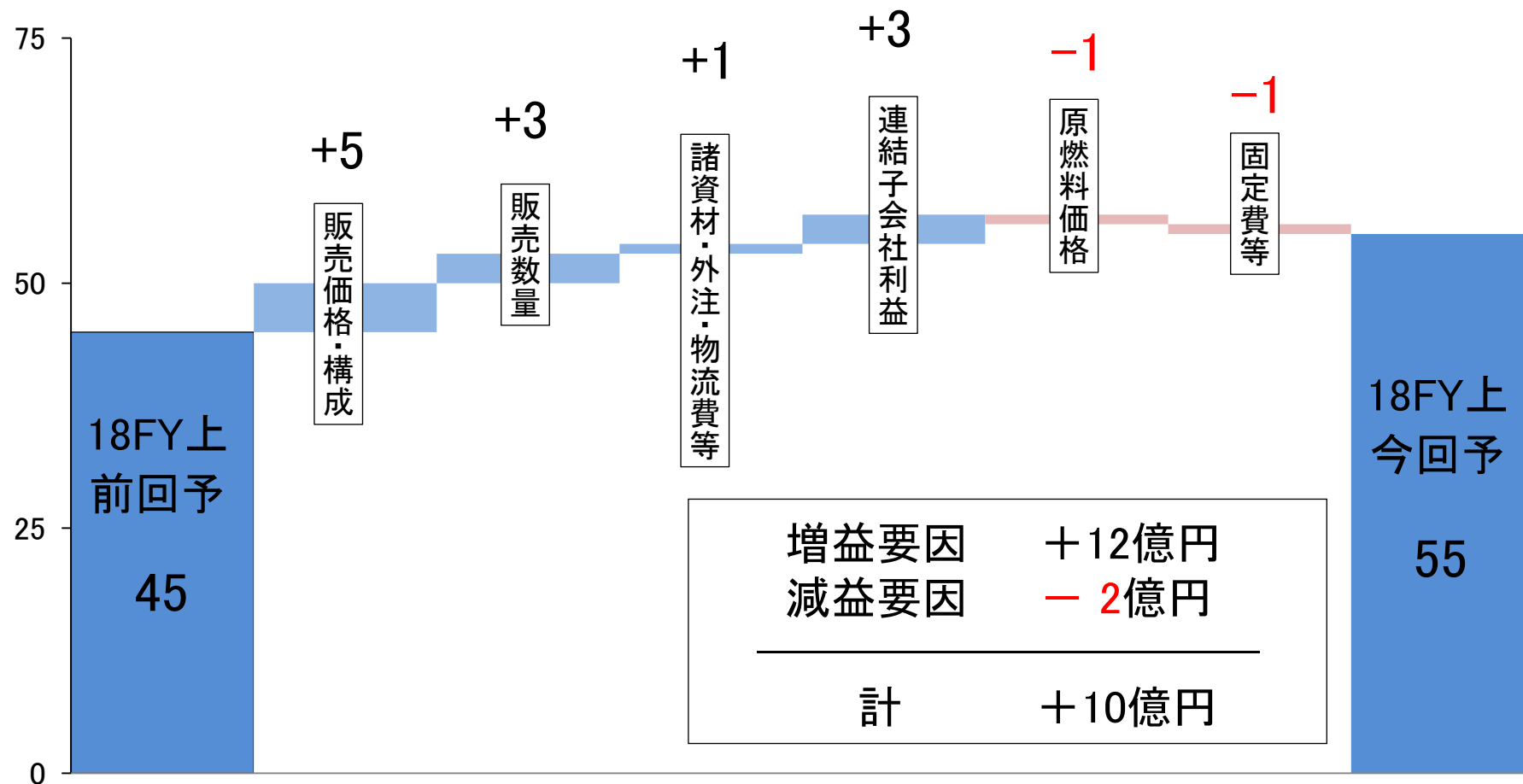
<配当方針>

連結配当性向25～30%程度を基準とする

経常利益の変化要因

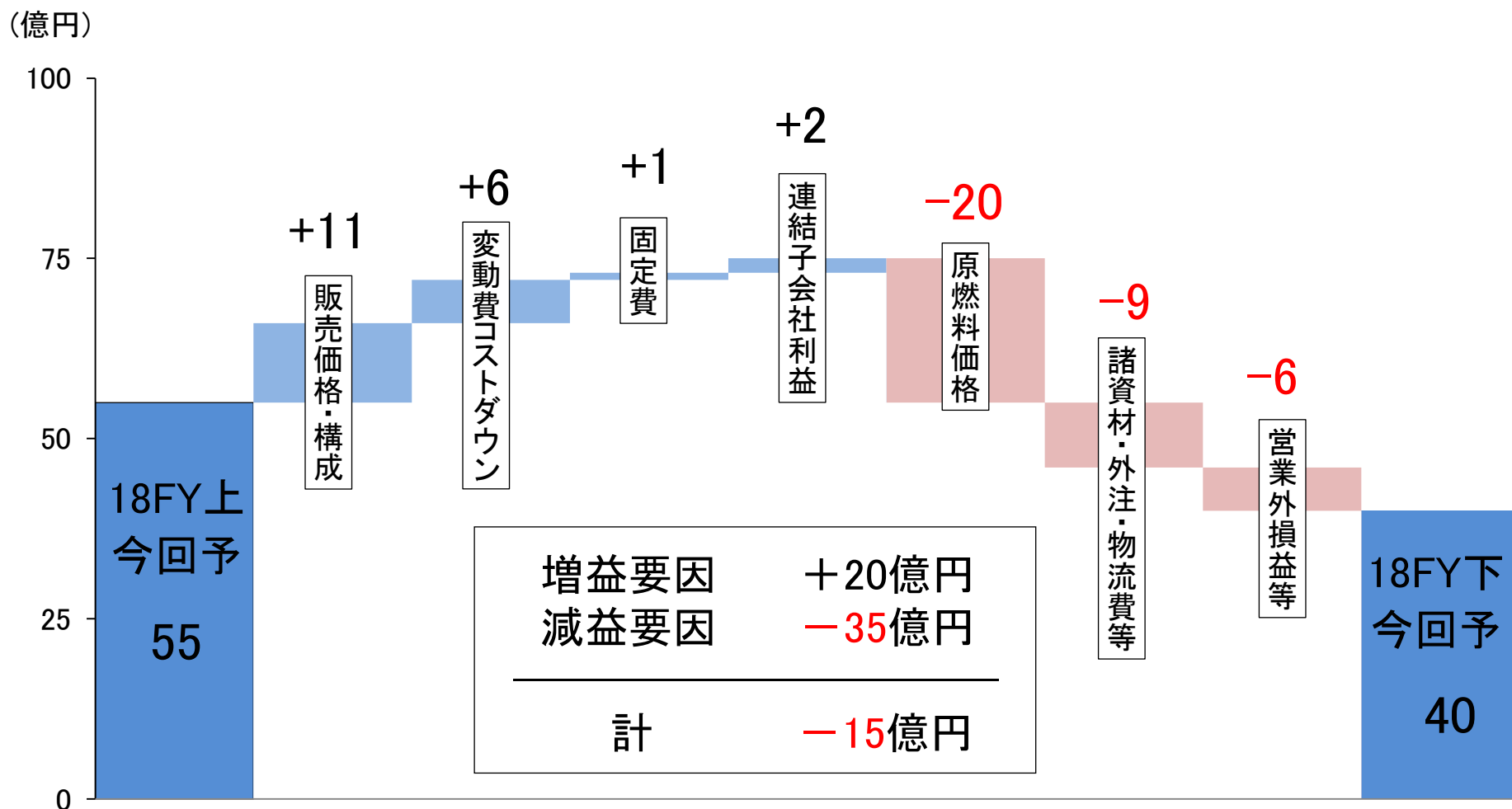
2018FY上期前回予想(45億円) → 2018FY上期今回予想(55億円)(+10億円)

(億円)



経常利益の変化要因

2018FY上期今回予想(55億円) → 2018FY下期今回予想(40億円)(-15億円)



財務指標の推移

		2013FY	2014FY	2015FY	2016FY	2017FY	2018FY1Q	10次中期
ROE(自己資本当期純利益率)(注1)	%	4.1	6.1	6.6	6.6	5.6	11.8	7.0
ROS(売上高経常利益率)	%	4.2	5.7	7.7	8.5	6.8	8.8	9.0
ROA(総資産経常利益率)(注1,2)	%	3.4	4.8	6.0	6.5	5.4	6.9	7.0
自己資本比率(注2)	%	50.2	55.8	62.4	66.7	61.0	57.5	
有利子負債(ネット)	億円	478	332	143	127	284	373	
D/Eレシオ(ネット)(注3)	倍	0.46	0.29	0.13	0.10	0.22	0.28	0.20
1株当たり当期純利益(注4)	円/株	126.0	203.0	230.0	241.5	218.3	123.8	
1株当たり純資産(注4)	円/株	3,167	3,498	3,483	3,797	3,961	4,029	
期末従業員数(注5)	人	2,775	2,706	2,625	2,598	2,666	3,765	

(注1) 2018FY1Qについては、利益を年換算している。

(注2) 税効果会計に係る会計基準の一部改正等を2018FY1Qから適用しており、2017FYについても、当該会計基準等を遡って適用した後の数値を記載。

(注3) 有利子負債から返済に充当可能な現預金を差し引いた純有利子負債の、純資産に対する比率。

(注4) 2017年10月1日に株式併合(5株を1株)を実施。当該株式併合を踏まえて換算。

(注5) 2018FY1Qについては、2018年6月にMSSSPLを子会社化したことによる増加。

その他のトピックス

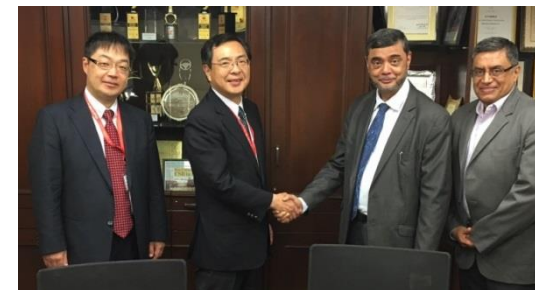
(1) Mahindra Sanyo Special Steel Pvt. Ltd.の子会社化完了

・当社は、2018年6月21日付で持分法適用関連会社であるMSSSPLの株式を追加取得し、子会社化。

- ①議決権比率 : 29.0%→51.0%
- ②株式追加取得対価 : 約15億ルピー(約24億円)

・国内外含めて、初の特殊鋼一貫製造・販売子会社。

・インドでの特殊鋼需要の拡大による市場の成長や日系等の顧客要求への対応を強化し、当社インド工場として品質・生産性・コスト・競争力でインドNo.1を目指す。



MSSSPLの外観

【MSSSPLの概要】

名称 : Mahindra Sanyo Special Steel Pvt. Ltd.
 所在地 : インド共和国 マハラシュトラ州
 設立 : 1962年(合併事業開始 2012年)
 売上高 : 約91億ルピー(約155億円) (注)
 事業 : 特殊鋼製品の製造、販売

(注) 2017年3月期(1ルピー=1.7円にて換算)

所在地



その他のトピックス

(2)新日鐵住金株式会社による当社の子会社化および当社によるOvako AB社の子会社化について

- ・新日鐵住金(株)(以下、新日鐵住金)及び当社は、2018年3月15日付で「新日鐵住金による当社の子会社化等の検討開始」を公表。その後検討を進め、条件等の協議が整ったことから、2018年8月2日付で、子会社化等に関する契約を締結。
- ・2019年3月28日に以下の取引を実施予定。
 - ①新日鐵住金による当社の子会社化
当社がOvako全株式を取得するための資金調達を目的とし、新日鐵住金を引受人とする第三者割当増資を実施。
 - ②当社によるOvakoの子会社化
新日鐵住金から当社へOvako全株式を譲渡
- ・当社は、新日鐵住金による子会社化後も、上場維持予定。



※ 詳細については、当社ウェブサイトに掲載の「新日鐵住金による山陽特殊製鋼の子会社化等」の資料をご参照ください。

【Ovako社の概要】

名称 : Ovako AB
 所在地 : スウェーデン(本社)
 売上高 : 約921 百万ユーロ(約1,200 億円)(注)

売上数量 : 約78万t/年(注)
 従業員数 : 約3,000名
 事業 : 特殊鋼及び二次加工製品の製造・販売
 (注) 2017年12月期(1ユーロ=130円にて換算)

その他のトピックス

(3) 極超高清浄度鋼 製造プロセス(SURP)を開発

- ・当社は、超高清浄度鋼製造プロセス(SNRP : Sanyo New Refining Process)をさらに発展させた極超高清浄度鋼製造プロセス(SURP : Sanyo Ultra Refining Process)を開発。
- ・SNRP は、高品質な超高清浄度鋼の量産化を実現した製造プロセスであり、介在物の量を低減すると共に、最大介在物の大きさを制御(小径化)する技術。
- ・当社は、大型介在物の出現頻度はその組成(介在物を構成する微量成分の種類や量、割合)によって制御できることを発見。
- ・SNRPにこの介在物組成制御技術をプラスし、大型介在物の出現頻度をさらに低減できるSURPを開発。
- ・重荷重および過酷な潤滑環境下で安定稼働が求められる高速鉄道、風力発電機、産業機械用等に用いられるベアリング等の転がり部品への適用により、高信頼性化並びにメンテナンスフリー化のニーズへの対応が期待される。

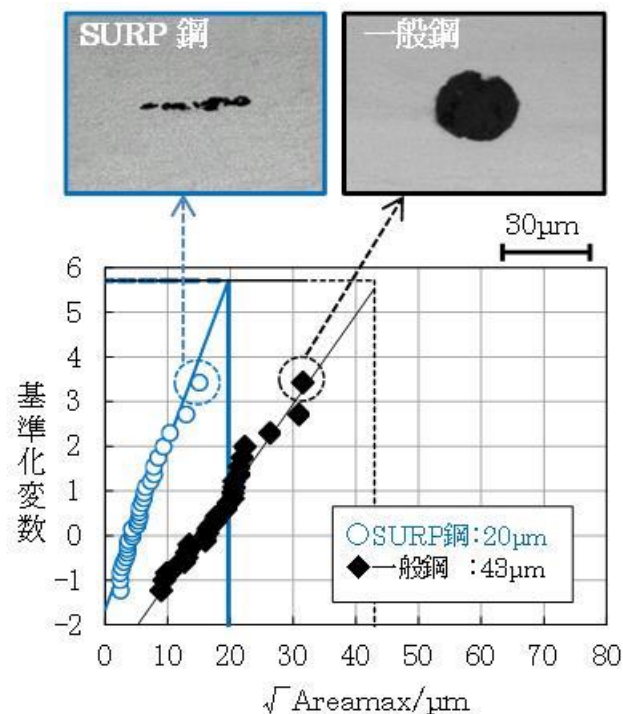


図 肌焼鋼の極値統計結果一例

その他のトピックス

(4) インドで工具鋼の展示会に出展

- ・インド最大の工具鋼展示会「Die & Mould India International Exhibition」が2018年4月11日～14日にムンバイにて開催され、世界19カ国から約260社が出展。
- ・当社は、熱間・冷間工具鋼、プラスチック金型用鋼、粉末ハイス等の高信頼性商品を紹介。
- ・当社ブースには、150名超が来場。



(5) 文化振興財団主催 文化講演会を開催

- ・2018年5月、姫路市文化センターにて開催。
- ・講師は、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の川口淳一郎氏。
- ・小惑星探査機「はやぶさ」の開発の苦心談や、当時の欧米の宇宙探査機の開発競争の状況などを、ユーモアを交えながら解説頂いた。





特殊鋼の技術で、 世界の人を支えたい。

グローバルな視点でものづくり。  山陽特殊製鋼株式会社

www.sanyo-steel.co.jp

(ご注意)

本資料の業績予想等は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。いかなる確約や保証を行うものではありません。



「さんとくん」
(当社キャラクター)